

研究区分	学部研究推進
------	--------

研究テーマ	日本研究プログラム専門科目「日本芸能論」でのゲスト講義 「【昭和歌謡論】 受け継がれる「忠臣蔵」の世界 ～古典芸能から浪曲、そして歌謡曲へ」				
研究組織	代 表 者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	吉田 真樹
	研究分担者	所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発 表 者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	吉田 真樹

講演題目
日本研究プログラム専門科目「日本芸能論」でのゲスト講義 「【昭和歌謡論】 受け継がれる「忠臣蔵」の世界 ～古典芸能から浪曲、そして歌謡曲へ」
研究の目的、成果及び今後の展望
令和6年6月13日（木）14時40分～16時10分、3108教室にてゲスト講義を実施した。 講師の高校時代における演劇部の戦績や大学時代におけるフリーランス役者としての経歴および映像制作などを中心とした自己紹介があった。 知識なしの状態で三波春夫「チャンチキおけさ」を聴かせ、受講生の感想をその場でグーグルフォームによって集めた。学生の感想をふまえ、歌詞の前提となる時代状況、歌詞の説明、三波春夫の芸の意識、村田英雄との比較などについて説明があった。 「仮名手本忠臣蔵」について殿中刃傷の場を中心に説明があり、「仮名手本忠臣蔵」や真山青果の史実増補版「元禄忠臣蔵」を母胎として生まれた二次、三次創作の一つとして浪曲・歌謡浪曲版を位置づけ、三波春夫の歌謡浪曲「あゝ松の廊下」を聴かせた。2015年に歿した国本武春の浪曲「ザ・忠臣蔵」を聴かせ、近年まで様々な形で浪曲を広めようとしていた人がいたことに注意を促した。失われつつある芸能としての浪曲の核にある「義理と人情」についての説明があり、「義理と人情」の芸能としての浪曲その他の芸能が生き残ってほしいと訴えた。全体的に若さの溢れる情熱的な講義であった。